

主 文

本件上告を棄却する。

当審における未決勾留日数中九〇を本刑に通算する。

理 由

弁護人吉永嘉吉および被告人本人の上告趣意（後記）は、いずれも刑訴四〇五条の上告理由に当たらない。また記録を精査しても同四一一条を適用すべきものとは認められない。

よつて同四一四条、三八六条一項三号刑法二一条により主文のとおり決定する。

この決定は、裁判官全員一致の意見である。

昭和二六年四月二一日

最高裁判所第二小法廷

裁判長裁判官	霜	山	精	一
裁判官	栗	山		茂
裁判官	小	谷	勝	重
裁判官	藤	田	八	郎